

授業改善のポイント 第6学年

資料を基に、自分の立場を決める力を付ける

発言者の意図をとらえる。

【話し合い】中のそれぞれの「コース」は次の通りで、この「コース」が、発言者の意図していることとなります。

青木	何かを作る	
山中	体を動かす	
石川	いい景色を見る	
安田	歴史探検	

＜指導のポイント＞

段落の始めか終わりの部分を読むとキーワードが見つかります。
その時、次のような表記を探すとキーワードを特定することができます。

「私の考えは、～」
「～と考えます。」
「～を提案します。」
「～を試してみたいと思っています。」
「～だと思います。」
「もし～なら・・・だと思います。」

比較を通して立場を明確にする。

「長所」と「短所」という視点を決めて比較させると、理由をよりはっきりさせて自分の立場を明確にすることができます。

コース	長 所	短 所
何かを作る	世界に一つのオリジナル作品を作ることができる。	つかれる。
体を動かす	体を動かす気持ちよさが体験できる。	けがや思うように動けない場合がある。
いい景色を見る	修学旅行でしか見ることのできなすばらしい景色を見ることができる。	ただ見ているだけではつまらない。
歴史探検	これからの学習にとっても大切である。	

【話し合い】の中に記述がなくても、「難しすぎる」「見ただけでつまらない」「興味のある人となない人がいる」など、短所を予想させることもできます。

自分だったらどれにする？

資料を読み取る力を付ける

何の情報を伝える資料なのかとらえる。

資料の「タイトル」や「項目」を見ると伝えたい情報がわかります。

お城	江戸時代にたてられたお城。日本有名な三つのお城の一つ。有名な画家が描いた絵を見に来る人が多い。城の一番上まで上ることができる。城下町を見渡すことができ、ながめがすばらしい。	(資料B) (体験見学場所)の特ちょうや良さ
湖	遊覧船に乗って、湖の周りに広がる自然豊かな景色を楽しむことができる。遊覧船に乗らない場合は、カヌー体験もできる。カヌーは、インストラクターが親切に教えてくれる。	
自然公園	季節ごとに美しい花がさきほこる。ドングリやクルミなどさまざまな木の実を拾うことができる。アスレチック広場があり、のぼったり、くぐったりと全身を使って運動することができる。	
海岸	白い砂浜と青い海のながめがすばらしい。きれいな貝がらや石がくまなく落ちていて、その貝がらを使ってキーホルダーをつくるができる。また、ビーチバレーボールができる場所もある。	
工芸センター	竹をナイフでけずって台をつくり、そこに自分で持ち込んだきれいな石や貝がらや木の実をつけて、かざりものを作ることができる。できた物は、すぐに持ち帰ることができる。	
お寺	森でかこまれた静かな場所にある。千年前に作られた仏像を見ることができる。江戸時代から伝わる絵巻物も展示されていて、見学者が多数訪れる。	
博物館	発見された化石の骨をつなぎ合わせて再生したゾウや恐竜の実物大の模型が展示されている。また、大昔の人が使ったおのやぼうちよう、骨で作った釣り針なども展示されている。	

(資料A) (行くことができるコース)
☆ 遊覧船に乗っている時間は、体験・見学または、移動に必要な時間です。

伝えたいことに関係することがらを見つける。

今回の問題を例にすると、「特ちょうや良さ」から「提案したいコース」に関するキーワードを探します。

<体験・見学場所>

<文中のキーワード>

<考えられるコース>

お城	江戸時代にたてられた ----- ながめがすばらしい	歴史探検 ----- いい景色を見る
湖	景色を楽しむ ----- カヌー体験もできる	いい景色を見る ----- 体を動かす
自然公園	季節ごとの美しい花 ----- 木の実を拾う ----- 運動することができる	いい景色を見る ----- 何かを作る ----- 体を動かす

文章の中に提案したいコースに関連したキーワードが隠れていることを意識させます。

段落を構成する力を付ける

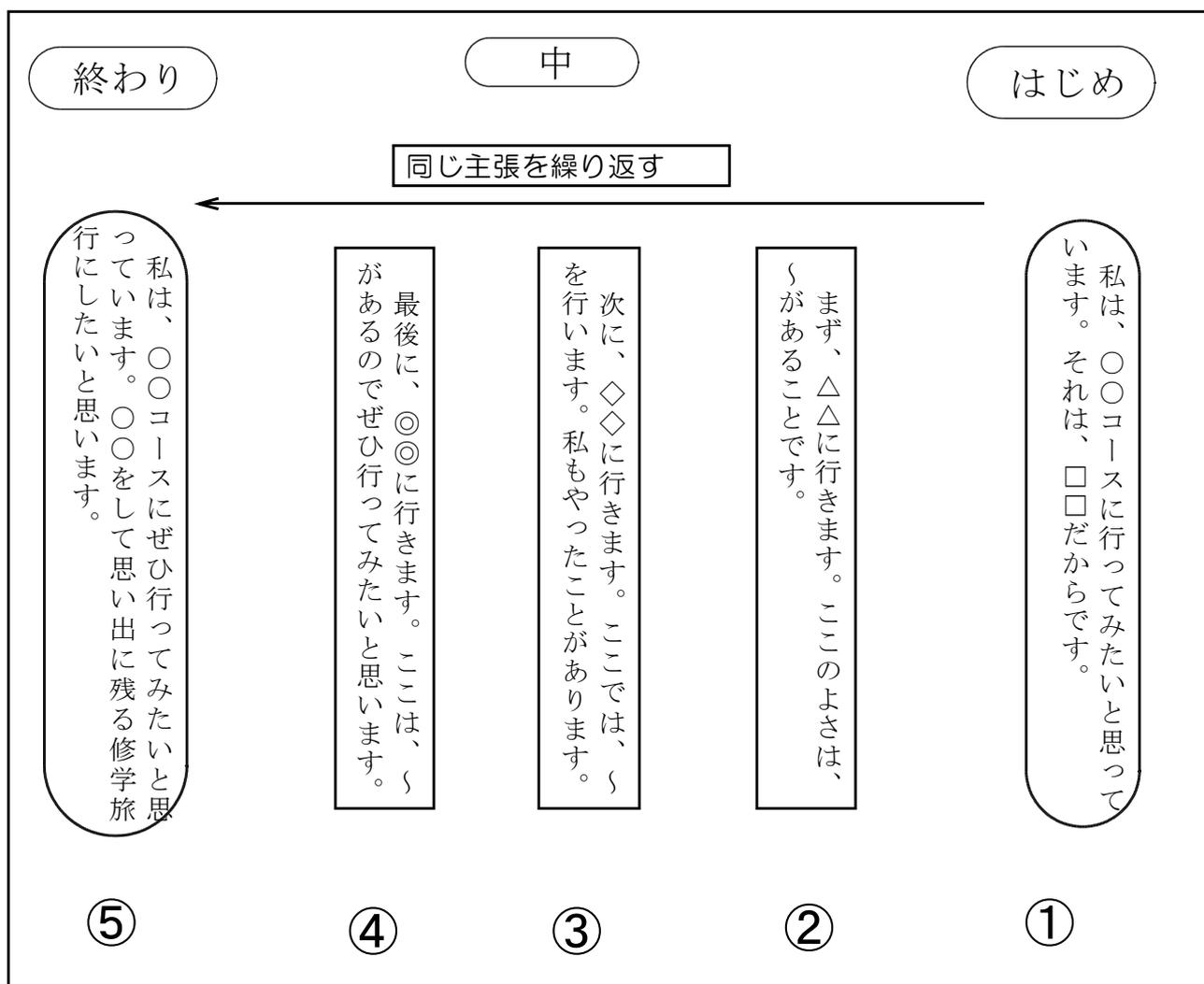
双括型の意見文の型を意識する。

「双括型」にすると、「はじめ」と「終わり」に主張を述べるため、論旨が整います。

「中」の部分は、「事象・事実」を分類したり、「考え」を分類したりすることで段落が作られます。

「中」の部分に段落をつける。

段落構成図



書く前に論旨と理由の整合性を考えさせましょう。

目的を明確にして述べる力を付ける

日頃から活動目的を意識する。

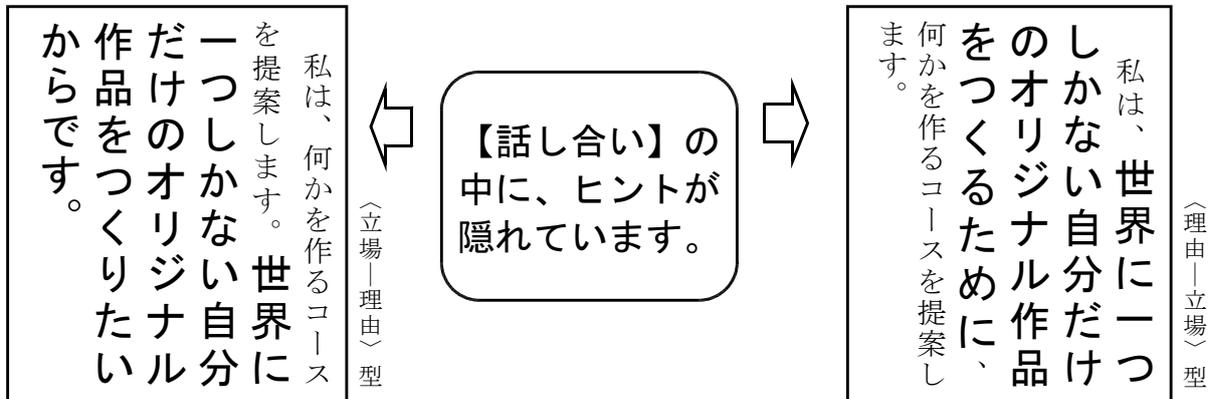
児童が日常活動を行うときに、「なぜ行うのか」「何のために行うのか」を常に言葉で言えるようにしておくことが大切です。

修学旅行に行く
←
6年間の学習の
成果を見るため

掲示係の仕事
をする
←
作品をみんな
で見るため

ドッジボール
大会をする
←
仲間の絆を深
めるため

今回の問題を例にすると、目的の述べ方としては、次の2通りがあります。



説得力のある文章を作る力を付ける

文章の比較を通して、読み手の受け止め方を考える。

知識・体験を入れた文章と入れない文章を比較すると、説得力の違いがはっきりしてきます。見たたり聞いたりしたことも知識・体験となります。

江戸時代には、絵やおど
りなど、今も残っている文
化が、できあがったと本で読
んだことがありません。お寺
に行くと、江戸時代から伝
わる絵巻物がどんなものか
見てみたいと思います。

知識

お寺に行くと、江戸時代
から伝わる絵巻物を見てみ
たいと思います。

私は、前にカーフェリー
に乗った時、海の広さにび
つくりしたことを覚えてい
ます。今度は、遊覧船に乗
って、湖の周りに広がる自
然豊かな景色を楽しみたい
と思います。

体験

遊覧船に乗って、湖の周
りに広がる自然豊かな景色
を楽しみたいと思います。

どちらが説得力あるかな？

どちらが説得力あるかな？